kamiyama

広報かみやま

●特集

離れていても、
まちと外をつなぐもの

9
2026年9月
No.366

神山のみんなとつながる



町民の動き
[令和8年9月1日]

人口：4,542人[男：2,198人　女：2,344人]　世帯数：2,443戸
前々月比：－5人（自然動態－14人：出生1人、死亡15人）
（社会動態9人：転入19人、転出10人）



[佐々木崇善] 2004年生まれ。徳島農業大学を卒業後、現在は椎茸組合に勤めている。趣味は絵を描くことと、会社の後輩と一緒に町内の飲食店を巡ること。

わたしの夢中なこと

僕の絵で神山の魅力を伝えたい！

佐々木 崇善 SASAKI Takayoshi

椎茸を育てるには温度管理が大切

鬼籠野で生まれ育ち、小学2年生から上分で暮らしています。神山中学校、城西高校神山校、徳島農業大学へ進学しました。祖父母も親も椎茸の菌床をつくっていたこともあり、小さい頃から身近に椎茸がありました。

椎茸組合で働くことになったのは、高校の時に参加した職場体験でインターンとして薦められたから。今やりがいを感じているのは、椎茸の温度管理を任されていることです。椎茸ってとても繊細で、熱すぎても冷えすぎても使い物にならない。だから、椎茸がたくさん生えてきてくれたら嬉しいですね。職場の実習生は中国、スリランカ、ベトナム出身の方がいて国際色豊か。仕事終わりによく川遊びに行くぐらい、みんな仲が良いんです。

これからも絵を描くことを続けたい

子どもの頃から、絵を描くのが好き。中学校の時に夢中になって、その熱が今も冷めていません。漫画だけでなく、上分の美しい風景など、いろんなものを模写しています。家に帰ったらすぐにペンを取って、ずっと漫画を描くのが日課です。短編や4コマ漫画も含めて、これまで描いた漫画は全部で10巻以上あるんじゃないかな。

これからはデジタルでも描けるように練習して、SNSで投稿してみたいと考えています。僕のイラストを使って、神山に関わりたい。その先に、椎茸のことをもっとたくさんの人に知ってもらえたらいいですね。

かみやまchでは、インタビュー動画を公開中です。
こちらからご覧ください▶▶▶

CONTENTS　目次　広報かみやま　2026年9月号　No.366

2 わたしの夢中なこと ／ 目次

3 特集
離れていても、まちと外をつなぐもの

10 元気で暮らそう
11 神山ってステキ！
14 つなプロの窓
16 移住交流支援センターだより
17 町からのお知らせ
23 女性消防隊だより ／ 消防署だより
24 町からのお知らせ ／ 駐在所だより
25 国民年金だより
26 長寿番付
27 神山イベントカレンダー 2026
28 わたしの好きな神山

表紙写真：生津 勝隆

神山町役場公式サイト

広報 kamiyama DX

広報かみやま バックナンバー

KAMIYAMA INFORMATION

特集

離れていても、まちと外をつなぐもの

広報で連載している、一度まちを離れそれぞれの場所で生活している人たちを取り上げた「まちの外で生きてます」。今回の特集では、企画を手がけている「やままち編集部」の設立秘話や誌面ができるまでの舞台裏、読者の反響、座談会の様子から、外から故郷を想う温かなエネルギーと地域の絆をお伝えします。

写真は、過去30回分の取材を行った方々です。

Kamiyama
やまもち編集部

やまもち編集部とは

神山町出身の4名が、「遠くで暮らしていても、故郷である神山に関わることができれば」という想いで活動している編集部のこと。
広報かみやまにて、2021年9月号からはじまった「まちの外で生きてます」の連載を企画・制作しています。

やまもち編集部ができるまで

大家　2021年度、神山町の創生戦略「まちを将来世代につなぐプロジェクト」第2期がスタートする時に、取り組みのグループ内で話し合いを重ねていました。その中で、まちの外に住んでいても、神山のことをずっと思っている人たちをつなぐことができたらという話になりました。

大南　神山が知らない間にどんどん変わっていくことに嬉しい思いがある一方で、まちの外にいる私たち自身も、その変化の中に身を置いてみたいという気持ちが大きいことに気づいたんです。そこで、その時に集まったメンバーを中心に、やまもち編集部を立ち上げることになりました。

私たちが活動しています

やまもち編集部 メンバー



大家 孝文 さん
OHYA Takafumi

下分出身、1981年生まれ。大阪のアパレル会社で広報やPRに関わっている。やまもち編集部では、スケジューリングやキャスティングを担当。



大南 真理子 さん
OMINAMI Mariko

神領出身、1985年生まれ。東京の出版社で編集の仕事に携わっている。やまもち編集部では、インタビューをして原稿に起こす作業をしている。



海老名 和 さん
EBINA Izumi

神領出身、1998年生まれ。現在エジプトに在住し、ボランティアで医療機関に関わっている。編集部では、中学生から先輩へ質問するQ&Aコーナーを担当。



中川 麻畝 さん
NAKAGAWA Maho

下分出身、1998年生まれ。町外の会社に勤めている。編集部では、広報かみやまの紙面に収まりきらない記事をイン神山にて掲載している。

まちの外で生きてます 心にはいつも神山があります ができるまで！



ミーティングは、オンラインで。

①対象者決めミーティング

まずは「今、どんな人の話を届けたいか」を編集部で話し合い、取材対象となる方を決定します。

②アポ取り

決定した対象者の方へ連絡を取り、取材の日程や進め方の調整を行います。

③取材実施

オンラインで、神山で過ごしたときの思い出や現状のお話などを伺います。

④原稿執筆・素材集め

伺ったお話をベースに原稿を執筆し、写真などの素材を集めていきます。



心にはいつも神山があります

まちの外で生きてます

神山町出身者の今を紹介します！

先輩！ 海老名 和（えびな いずみ）さん（27歳）

［神領出身、エジプト在住］

さまざまな人と関わった幼少期

私は神領出身です。小さい頃は年齢関係なく、近所の子みんな一緒に遊ぶことが多かったですね。近所のおじいちゃんやおばあちゃんにも積極的に話しかけに行ったり、おしゃべりでした（笑）。小学2年生から4年生は、親の転勤で那賀町に。そのころから剣道をはじめ、当時はそれをすごく頑張っていました。5年生で神山に戻り、神山中学校に進学。当時の将来の夢は、国連の職員になること。海外で働くことへの憧れや興味があったのです。

いとこの影響で剣道をはじめ、夢中になった小学時代

夢をかなえるために町外へ

卒業後は、市内で下宿をしながら城東高校に通いました。放送部に所属して充実した日々を過ごしました。2年生で出場したNHK杯という大会では、なんと1位に！　そのころも夢はずっと国連の職員でした。

大学の専攻を決める際には、専門性をもっている方が良いと思い保健の分野を選び、京都大学の医学部人間健康科学科に進学。大学の勉強は大変でしたが、かけがえのない仲間ができたことは財産です。そんななか、3年生の終盤ころからコロナウイルスが流行。当時、私はイギリスの大学院に進学しようと思って準備をしていましたが、気持ちに変化があり一旦徳島に戻って保健所で働くことにしました。地元の徳島で働くことは充実度が高く、その後、徳島県の職員になりました。

神中祭でのひとコマ。何事にも全力だった中学時代。写真の中央下が海老名さん

エジプトでの活動

しかし、海外に行かなかったことが将来心残りになりそうだと思い、去年の夏に休職してJICAの海外協力隊でエジプトに来ました。今は省庁で医療機関に関わる仕事をしています。まだまだできることは少ないけれど、まずはできることを小さくでもやり続けていけたらと思っています。2年経ったら徳島県の職員に戻りますが、この経験を今後に生かしていきたいです。

Q&A 中学生から まちの外で暮らす先輩にあれこれ聞いてみよう

Q エジプトのご飯はおいしいですか？

A とってもおいしいので食には困っていません！お米もあるし、野菜や果物もたくさん食べられます。エジプト料理はトマトベースのものが多く、鍋や煮込み料理などいろいろ楽しめます。

Q 語学で苦労はしませんでしたか？

A 英語もアラビア語も、毎日苦戦しています（笑）。でも、少しでもアラビア語を話すと「アラビア語話せるの！？」と喜んでくれるので、もっと話せるようになりたいです。

Q 学生時代にしておいて良かったことは何ですか？

A イベントなどで、自分がしたい仕事や経験をしている人から体験談を聞いて、どんな勉強や能力・技術が必要なのかを考えるようにしていたのは、進路選択の時にとても役立ちました。

取材先募集！

インタビューを受けていただける神山町出身者（町外在住）を募集します。自薦・他薦は問いません。お問い合わせは広報担当者まで。

長編はこちら！ほかの写真もご覧ください▶

企画編集 やまもり編集部

遠くで暮らしていても神山に関わりたい神山出身者4人が企画制作を担います。

17

⑤学校への原稿共有と生徒からの質問集め

できあがった原稿を学校に共有し、記事を読んでくれた生徒のみなさんから感想や質問を集めます。

⑥Q&A執筆

生徒たちから集まった質問や声をもとに、Q&Aコーナーなどの原稿を仕上げます。

⑦誌面完成&イン神山へ記事の公開！

取材した言葉と生徒たちの声が詰まった誌面が完成！さらに、紙面に収まりきらなかった内容をWebサイト「イン神山」にて同時に公開します。

続・「まちの外で生きてます」ーあれから僕たちはー

2021年9月号から「まちの外で生きてます」の連載がはじまって以来、これまで紹介してきた方は30名にもおよびます。その中から4名の方に再びお会いして、インタビューを受けた時の気持ちや掲載後の反響、神山への想いなど、お話を聞きました。



第3回
2022年1月号

広野出身／徳島市在住
松久保 諒 さん

取材を受けている最中に、神山に戻って何かやりたいという気持ちが湧いてきたのを覚えています。掲載をきっかけに疎遠になっていた友達から連絡があって、楽しく話ができたのは良かったです。大阪でのつなプロ報告会の様子を撮影させてもらったのですが、神山のこれからを考える輪の中に自分も関われて、ますます誰かとつながりたくなりました。神山を離れてはじめてその良さが分かるし、今まちに住んでいる人はその魅力を思う存分味わってほしいですね。

松久保さんが掲載されている広報かみやまバックナンバーはこちら▶



第6回
2022年7月号

阿川出身／石井町在住
多田 誠志 さん

神山町に関わってくださっているみなさまの行動力のおかげで、このまちだからできる連載企画になっていると思います。年を重ね、自分にスポットが当たることが少なくなっていたので、いっぱい話を聞いてくれて嬉しかったです。僕は友達に恵まれたので、自分より友達のことを紹介できるいい機会だと思いました。実家が神社を代々受け継いでいるのもありますし、近い将来、神山町に帰って来て、自分の使命を果たしたいです。

多田さんが掲載されている広報かみやまバックナンバーはこちら▶

「まちの外で生きてます」を読んで思うこと



神山から離れていても、神山のことを大切に思っている人たちが多いですよね。僕は小学校3年生の時に神山に引っ越してきたのですが、みんなが学年関係なく温かく接してくれて、すぐに神山のことが好きになりました。町外の高校に進学して同級生と離ればなれになっても、今と変わらず仲良く遊んだり、地域の方ともいっぱいお話ができたらいいなと思っています。

神山中学校3年生 中村 斡志 さん

「まちの外で生きてます」
ロングバージョンが掲載中
イン神山はこちら▶

広報かみやま
バックナンバーは
こちら▶



第10回
2023年3月号

神領出身／徳島市在住
千田 航也 さん

役場に勤めている仲の良い友達から頼まれたのと、地元が好きで何かお手伝いができればという気持ちでインタビューを受けることに。職場の人や県外に住む友人たちが記事を読んでくれて、いずれ実家の豆腐屋を継ぐのか聞かれましたが、この先のことは分かりませんね。この連載に出る人たちは、まちの外にいても神山愛にあふれる人ばかり。そんな人たちと学生さんや若い人たちとが協力して、まちをさらに盛り上げていけたらいいですね。

千田さんが掲載されている
広報かみやまバックナンバーは
こちら▶



第22回
2025年3月号

下分出身／大阪在住
粟飯原 友 さん

大阪でつなプロ報告会があった時に、同級生に声をかけてもらいました。インタビューを受けて感じたのは、自分が幼少期に神山で過ごしたことを、時系列で思い出していける良い機会になったということ。中学校で先生から教わったことはずっと心にあるので、大人になって振り返ってみると貴重な経験だったなと思います。帰る場所があることと、美しいふるさとに暮らしながら、その良さを生み出している方がいることに、とても感謝しています。

粟飯原さんが掲載されている
広報かみやまバックナンバーは
こちら▶



進路を考える時期になって、将来の選択肢について意識することもあるのですが、いろいろな大人の方の仕事や生き方の話を読むと、自分では思いつかなかったようなことを知る新しい発見もあります。学生からの質問コーナーは、今の自分に重なるところがあって参考になっています。

神山中学校3年生 中南 礼 さん

やままち編集部トークセッション

今年9月で6年目を迎えるやままち編集部。メンバーである大家孝文さん、大南真理子さん、海老名和さん、中川麻畝さんの4名に座談会を開いていただき、はじまった当時のエピソードや連載を続けてきて気づいたこと、編集部のこれからについて、お話しいただきました。



はじまった当時を振り返って、どうですか？

大家　第1回目のゲストが僕でした。自分の半生を振り返ることができたし、みんな手探りで良い緊張感もありながら、大変なことがはじまった瞬間に立ち会えたような気がして、誇らしかったですね。

海老名　大家さんにも（大南）真理子さんにも直接お会いしたことがないまま、編集部のミーティングがスタートしたので、緊張しながら参加したのを覚えています。

5年間続けてきて感じたことや印象に残ったことはありますか？

大家　5年間でのべ30人に取材していると、共感できる部分や“神山出身あるある”が発見できます。立志式に何を宣言したのか、まちから離れた高校に通ってカルチャーショックを受けたかどうか、その2つの話を聞くのがいつも楽しみなんです。

中川　例えば青雲寮のように、神山での生活は同じはずなのに、少し年代が違うと全く知らないことがあって、とても新鮮に感じました。

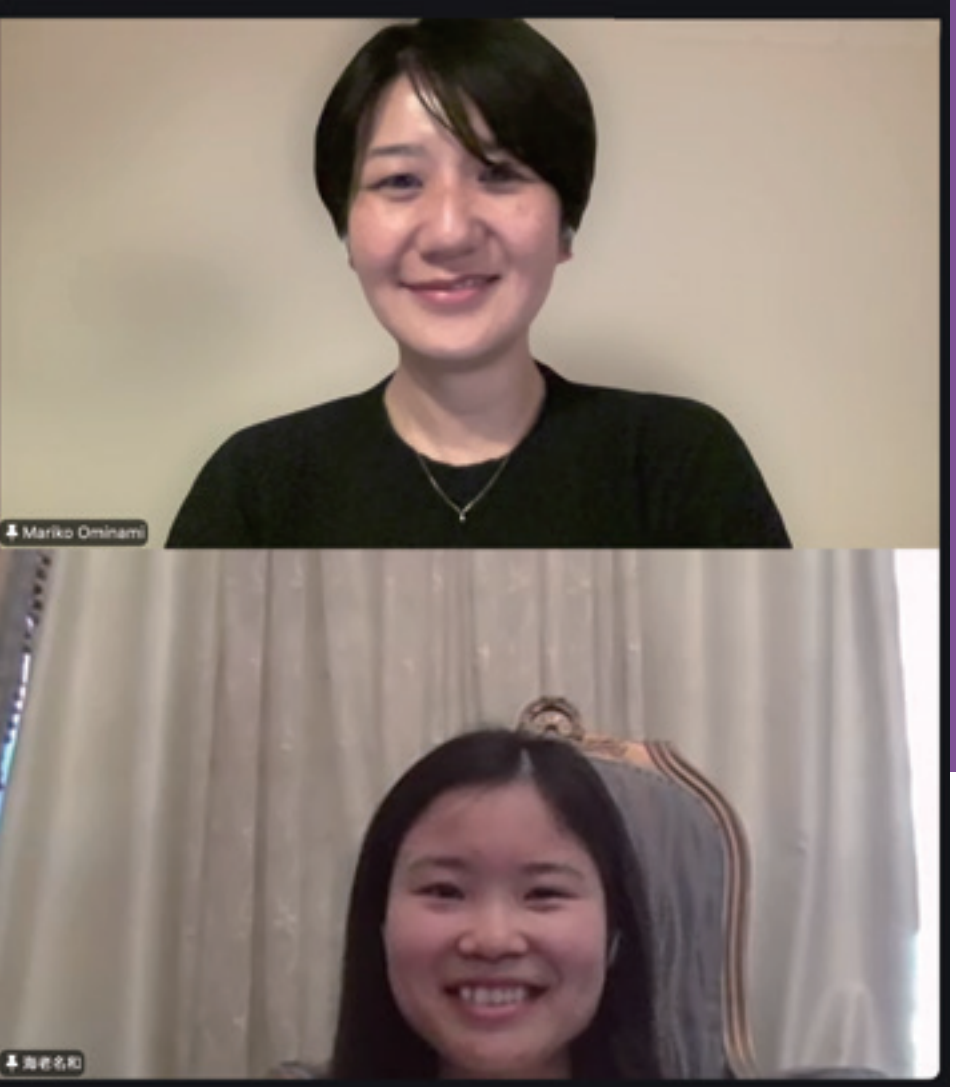
海老名　人それぞれに人生のターニングポイントがあったり、葛藤や悩みを抱えていたり。お仕事だけでなく、誰かの人生について深いお話を聞けることってなかなかないので、毎回おもしろいですね。

大南　神山のことをポジティブに思っている人だけでなく、まちの未来がどうなってゆくのか心配したり、もっとこうしたらいいのにと考える人にも出会うこともありました。そういう意見は、神山に関心を持ってくれていることの表れだと思うから、その度インタビューして良かったなと思います。

今はどんな気持ちで取り組んでいますか？

大南　長く続けることが一番の目標です。編集部のかたちがどうであれ、読者に届けたいことそのものが大切なんだということを、みんなで共有しながら進んでいけていると思います。私の夢は、町民図鑑をつくることなので、まだまだ先は長いですね。

海老名　この企画を通して、こんな先輩がいるんだとか、中学生の時に自分と似たようなことで悩んでいたんだと、知ってもらう機会になればいい。そして、連載を読んでいた中学生たち



が大人になった時に、取材を受けてもらえる日がきたら嬉しいですね。

中川　5年が経って積み重ねてきたものもあると思います。例えばラジオで話したり、これまで登場した人たち全員を集めてトークイベントを開いたり、今後もいろいろ楽しいことができそうだなと思ってます。

町民のみなさんにメッセージをどうぞ。

大家　興味のある方やお話を聞きたい方がいらっしゃったら、ぜひご紹介ください。

中川　今は神山で暮らしていないけど、このまちに想いを寄せている方はたくさんいます。きっと同世代の方が登場する回もあるので、自分の記憶と照らし合わせながら読んでいただき、クスッと笑ってもらえたらいいなと思います。

海老名　これまで20代から50代までと幅広い年代の方に取材させていただきました。何か大きなことを成し遂げたというお話じゃなくても、神山から離れた場所で今こういうことをして生活していますというかんじで、気楽に出ていただきたいです。

大南　いつも元気にしていますよって、2ヶ月に1回、遠い親戚から届くお手紙だと思って、読んでもらいたいですね。



取材先募集！

インタビューを受けていただける神山町出身者（町外在住）を募集します。自薦・他薦は問いません。お問い合わせは広報担当者まで。

FEATURE SUMMARY
特集取材を終えて

これからも、心でつながる神山へ

離れていてもまちを想う気持ちは、みなさんへ真っ直ぐに届いています。やまもち編集部が手がける「まちの外で生きています」を通じて、場所が離れていても心でつながる神山の強い絆を再確認できました。この温かなつながりが、これからもずっと続いていきますように。

教えて
保健師さん



あなたの体の成分を測ってみませんか

まちでは生活習慣病予防・フレイル予防対策として、体成分分析装置を設置しました。

体成分分析装置での測定で分かることは･･･
筋肉量、脂肪量、内臓脂肪レベル、
体型の評価 等





体成分分析装置「InBody」では筋肉量などを無料で計測できます!



役場で体成分分析装置での測定ができます!

測定時間：月曜日から金曜日の　9:00～16:00
測定年齢：6歳以上
測定方法：靴下を脱いで測定します。自分の身長を教えてください。(ペースメーカを装着されている方や妊娠中の方は測定できませんのでご了承ください)
料　　金：無料
※来庁時、健康福祉課の職員に声をおかけください。測定時に健診結果をお持ちいただくと、体成分分析装置の結果と併せて結果をより詳しくご説明できます。

お問い合わせは…
神山町健康福祉課
予防係まで
TEL 088-676-1114

元気で暮らそう

毎日を元気に暮らしていくヒントをお届けします。

介護予防シリーズ 104

徳島県認知症対策普及・啓発推進月間

「認知症の人の意思が尊重され、住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができる社会の実現」を目指し、9月21日の「世界アルツハイマーデー」を初日とする1ヶ月間、全国的に認知症に関する普及・啓発をはじめとした各種取り組みを集中的に実施しています。
徳島県では、9月21日～10月20日までの期間を「徳島県認知症普及・啓発推進月間」と設定しています。

～誰もが安心して暮らし続けられる神山町をみんなで～

認知症とは誰しもがなりうる病気です。さまざまな原因で記憶や思考などの認知機能が低下し、日常生活などに支障をきたすことをいいます。神山町でも多くの方が認知症と共に自分らしく暮らしています。

「もしかして認知症かも?」と思った時や、ご家族のことで悩んだ時は一人で抱え込まずにご相談ください。





相談窓口・お問い合わせ
神山町地域包括支援センター（神山町高齢者生産活動センター1階）
TEL 088-676-1185　お気軽にお立ち寄り・お電話ください

神山ってステキ!



全国の舞台で躍動!
中南仁さんがインターハイに出場

神領出身で城南高校3年生の中南仁(じん)さんが、7月30日(木)～8月5日(水)に開催された「第79回全国高等学校陸上競技対抗選手権大会」に出場しました。

中南さんは、男子100m(10秒55)、200m(21秒51)、4×100mリレー(41秒23)という複数種目で出場し、力強く駆け抜けました。日々のひたむきな練習を重ね、強豪が集う全国の舞台で全力を尽くした中南さん。これからのさらなる飛躍を、期待しています。



自分の中で一番気合いの入った大会になりました。掲げていた目標には届かなかったけど全国の最高の舞台で競い合えたことは良かったです。応援してくれている人に結果で恩返しができるようにこれからも頑張っていきたいと思います。

インタビュー動画は広報かみやまDXで公開しています。こちらからどうぞ▶▶▶

学びの成果と地域との対話
神山まるごと高専「BUILD.」開催

7月27日(月)、神山まるごと高専が、入学から約4ヶ月の学びを作品として発表する1年生前期制作展「BUILD.」を開催しました。会場には、石膏デッサンや3Dモデリング、木工制作といった繊細な作品から、神山温泉のポスターデザインまで、多岐にわたる成果物が一堂に並びました。

また地域の人と「共生·共創」する力を養う科目「ネイバーフッド概論」で、学生たちが神山ゆかりの方々を訪ね、その人が大切にしている思いや場所を丹念に取材した成果も紹介しました。

今回の開催にあたり、制作過程で協力いただいた町民の方など29名が特別招待され、学生たちの力作を前に、会場は温かい交流と笑顔に包まれました。





スポーツ少年大会(カヌー教室)を開催しました

7月29日（水）に神山町スポーツ少年大会（カヌー教室）を鮎喰川（高瀬）において開催し、５６名の団員が参加しました。当日は天候にも恵まれ、気持ちよく川に入ることができました。

講師からは、パドルの使い方やカヌーを上手く漕ぐ方法など実演を交えながら教わりました。過去に参加した子もおり、序盤から難なく乗りこなす子が多く見受けられました。また、カヌーをひっくり返し飛び込み台にするなど普段できない遊びをいっぱい楽しみました。





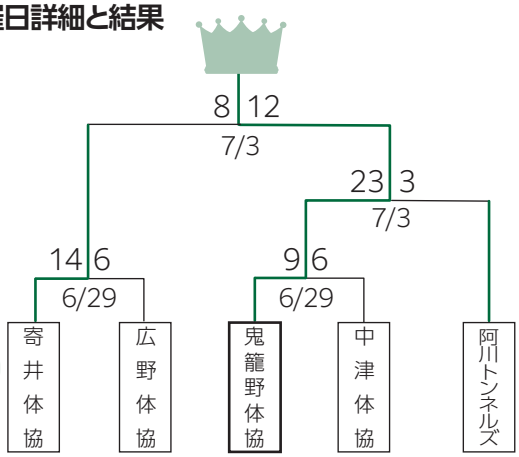
第51回神山町ソフトボール大会

6月29日(月)、7月3日(金)の2日間の日程で、神山町民総合運動場において、第51回神山町ソフトボール大会を開催しました。

5チームが参加し、トーナメント形式で計4試合を行いました。決勝戦では、両チームとも多くのヒットが出ましたが、小刻みにつなぎ点数を積み上げた鬼籠野体協が優勝しました。



開催日詳細と結果





スポーツ少年団球技大会

7月23日(木)神山町民総合運動場において、第64回神山町スポーツ少年団球技大会を開催しました。日中の厳しい暑さを避けるため、今年は夜間に開催され、審判・運営は神山町スポーツ推進委員の方々にご協力をいただきました。各チームとも練習の成果を存分に発揮し、熱戦を繰り広げました。ペタンクの部では阿野Aチームが、グラウンドゴルフの部では神領東Aチームがそれぞれ優勝しました。また、ホールインワンも2名が達成しました。その他の結果は次のとおりです。





ペタンクの部(10チーム参加)

優勝:阿野A　**準優勝**:鬼籠野C　**第3位**:神領西A

グラウンドゴルフの部(5チーム参加)

優勝:神領東A　**準優勝**:神領東B　**第3位**:神領西A

ホールインワン賞:神領東A　中村　斡志

神領東B　中村　穂奈海

神山ってステキ!



全国の強豪と激闘! 神山ルーキーズ堂々のブロック優勝







7月24日（金）から27日（月）にかけて開催された「野球のまち阿南第14回少年野球全国大会」に、神山ルーキーズ少年野球部が出場しました。

初戦は京都代表の東寺ベースボールと対戦し、最後まで粘り強く戦いましたが、惜しくも7対3で敗れました。しかし、翌日からの交流試合では見事に2勝をあげてブロック優勝を果たしました。全国の強豪チームを相手に、子どもたちは最後まで諦めずに戦い抜きました。

当日の様子はかみやまchでご覧いただけます。
こちらからどうぞ▶▶▶



神山町身体障害者会が徳島県央部地域ボッチャ大会第3位

7月19日（日）に徳島県立障がい者交流プラザ体育館で、令和8年度徳島県央部地域ノーマピック・ボッチャ交流大会があり神山町身体障害者会から2チームが参加しました。トーナメント方式の初戦で神山Aと神山Bが対戦し、勝ち進んだ神山Aが3位入賞を果たしました。

JICA海外協力隊でセルビアに派遣





7月9日（木）、竹内和啓さんがJICA海外協力隊としてセルビア共和国へ派遣されることになり、町役場を表敬訪問されました。

派遣先のセルビアでは、現地のNGOに配属される予定です。そこでは、知的障害のある方への理解促進に向けた広報活動をはじめ、作業所に併設されたカフェの商品開発やマーケティング戦略の立案など、幅広い分野で活動することになっています。

これまでの神山町での暮らしや地方創生の現場で培ってきた経験や視点をもとに、現地での活躍が期待されます。

つなプロの窓

“まちを将来世代につなぐプロジェクト” は、どう進んでいる？

第Ⅲ期
2026~2030

子どもたちと育てる、神山のもち米

今年も農家や地域の方々の協力を得て、町内の5年生ともち米づくりに取り組んでいます。田んぼでは、泥の感触を楽しみながら、自分たちで種もみから育てた苗も植えました。田植え後も田んぼを訪れ、稲の成長やホウネンエビなどの生きものを観察する親子の姿が見られ、うれしく思っています。また、地域の方が届けてくださった看板に、子どもたちが自分たちのもち米づくりを伝える言葉や絵を描きました。温かな応援に見守られ、稲はいよいよ収穫を迎えます。種から食卓までを体験し、「食」を支える自然や人の営みに目を向ける機会になればと思います。











籾まきを城西高校神山校の先輩から教わる5年生



まちの食農教育 代表理事
樋口 明日香
Asuka higuchi
食べる楽しみを励みに、育てることやつくることの学びを考えています。

まちの新人研修を実施しました



米田 若菜
Wakana Yoneda
神山つなぐ公社ひとづくり担当。徳島県阿南市出身。
今年も阿波踊りの笛のおかげで、一時的に腹筋が強くなった気がします。

「まちで暮らす·働くをちょっと豊かにする」をコンセプトに、つなプロ第3期から新たに始まった「まちの新人研修」。今年度は町内事業所を対象に参加者を公募し、7事業所から新しく入社·着任した11名が参加しました。町内の職場を巡ったり、一緒に昼食をつくったりしながら、職場を越えた「町内同期」として交流を深めました。

参加事業所「神山椎茸生産販売協同組合」参事 糸山達哉さんからのコメント

研修を通じて、神山町で働きはじめた新人のみなさんに、私たちの会社を知っていただく機会になったことが良かったと感じています。また、新人スタッフ自身が自社を紹介するために、改めて先輩社員から会社のことを教えてもらう機会にもなり、社内での学びやコミュニケーションにもつながりました。



自分の職場を案内する研修参加者
（神山椎茸生産販売協同組合にて）

「まちを将来世代につなぐプロジェクト（つなプロ）」は今年、第３期へと歩みを進めました。将来世代が自分とまちに可能性を感じられる状況を目指し、「暮らし続けられるまちの基盤づくり」や「地域内外の『ひと』の力を集めた活動創出」を方針に掲げています。様々な活動の現場からお届けします。

若者が安心して挑戦できる居場所「バンビ」の取り組み

「なんとなく集える場所 ワカモノの店 バンビ」です。普段は毎週金曜日に中学生以上の若者が交流したり学びあったりできる場を設けており、毎年夏休みには中学生の夏休みの宿題を応援する「宿題バンビ」を開催しています。今年は神山中学校でのワークショップに参加させてもらって中学生と一緒に「宿題バンビ」でできることを考えました。静かに自習したり、「ほんのひろば」が貸してくれた本を読んだり、プログラミング教室や「川の生き物さがし」で自由研究を進めたり。バンビは、ワカモノが地域で安心して学び挑戦できるよう、居場所づくりをしています。


プログラミングワークショップの様子


川で生き物を探す参加者親子


川でとった生き物を手に取ってみる



神山まるごと高専職員
春田 麻里
Mari Haruta
2024年1月から「バンビ」の活動を始めました。つなプロ施策の1つとして、ますます「バンビ」を成長させようとがんばっています。

世界へ羽ばたく！神山町の高校生・高専生がフランスへ出発

9月8日、「神山町留学支援プロジェクト」（県の留学事業にチームで挑戦する高校生達に伴走するつなプロ3期施策）により、城西高校神山校の稲元さん、神山まるごと高専の福西さん、蛇石さんがフランスのオアラスへ出発しました。3名は、現地で日仏文化交流を行っているNPO法人ニッポニアを拠点に、食を中心とした人のつながりや居心地の良い場づくりをテーマに探究活動や交流を行います。帰国後は、留学体験や学びをみなさんに伝える場を持つ予定です。3名の挑戦が実りあるものとなるよう、温かく見守っていてください。


出発前に河野町長にご挨拶


ニッポニアの拠点であるレウ城



湊 洋平
Yohei Minato
神山つなぐ公社ひとづくり担当。自分も留学するつもりで生徒の伴走を楽しんでいます。いつか自分もオアラスに行きたい！

移住交流支援センターだより


NPOグリーンバレーの吉田・村井・伊藤・進藤がお届けします。

新しい職員のご紹介

今回は、7月から移住交流支援センターの担当となった、**村井 祐佳里**さん（国府出身）を紹介します。

神山町に来たきっかけは？

高校卒業後、京都にある建築の専門学校で4年間学びました。もともと新築よりも空き家を活用できるリノベーションに興味があり、専門学校を卒業後、東京の住宅リノベーション会社に就職しました。そこで、主に現場監督の仕事をしていました。徳島に帰ってきてから、ハローワークで神山塾(求職者支援訓練)の募集を見つけて応募し、2023年3月に15期生として入塾しました。神山塾の半年間は、国府から通っていました。センターへの就職をきっかけに6月から神山町で暮らしています。



意気込みを教えてください

空き家はあるけど直さないとすぐ住めない建物が多い、市街地での暮らしとは異なる中山間地域特有の大変さがあるといった点などを、実際に住みながら働いてみて感じています。空き家を介して人と人との結びつきを築いているのだという意識を、常に大切にしていきたいと考えています。まだまだ神山町について知らないことが山のようにあるので、一つずつじっくり知っていきたいと思っています。何卒よろしくお願いします。



空き家相談会を開催しました

8/14(金)に神山町役場で空き家相談会を開催し、5組の来場者がありました。すでに空き家になっているお家の賃貸や売買、解体についての相談だけでなく、将来的に管理ができなくなった場合に備えて情報収集しておきたい、といった相談も半数を占めました。

令和6年4月に相続登記が義務化されたこともあり、空き家になる前から管理や活用方法について、ご家族で話し合いを始めている方が増えています。センターでは、すでに空き家になっているお家だけでなく、今はまだ住んでいる、管理しているお家についても相談を受け付けています。お気軽にご相談ください。

空き家相談・家探しの相談 随時受付中!

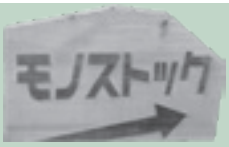
空き家相談会以外でも、随時相談を受け付けています。お気軽にご連絡ください。

移住交流支援センター
TEL 088-676-1177

新規移住相談件数	6月 9件	7月 5件

ー空き家から出るモノを再利用ー

モノストックオープンデー





9/26（土）9:00～12:00

10/20（火）9:00～12:00

場所：神領青井夫・旧国道沿い

まちづくり戦略課
TEL 088-676-1106

元気づくり事業の募集

神山町では、みなさんの自主的・自発的な地域活動に対して財政的に支援をする「神山町元気づくり事業助成金」を創設しています。みなさんの熱意とアイディアにあふれた提案をお待ちしています。

対象となる団体

町内にまちづくり活動の拠点を置き、主に町内で活動をしている構成員が5人以上で、組織の運営に関する会則などがあり、継続的に活動している、または今後活動する計画がある団体を対象とします。※選考委員会による、選考があります。

対象となる事業

次に掲げる事業のうち、選考基準に該当するものを対象とします。

①地域の福祉・健康づくりに関わる事業
②学術・文化・芸術・スポーツの振興を図る事業
③地域づくりの推進を図る事業
④子どもの健全な育成を図る事業
⑤観光・レクリエーションの振興を図る事業
⑥景観づくりに関わる事業
⑦地域資源の発掘や地域ブランドの創造につながる事業
⑧まちづくり活動に寄与すると認められる事業

助成金の額及び交付期間

1団体1事業で補助対象経費のうち2分の1以内（新規事業であって、1年目は3分の2）。1年あたり補助対象限度額は100万円を上限とし、5万円を下限とします。交付期間は3年間です。

応募方法

次の書類に必要な事項を記入のうえ、令和8年10月9日(金)までにまちづくり戦略課へご提出ください。書類はまちづくり戦略課にて準備していますので申し出てください。

①助成金交付申請書
②事業計画書
③収支計画書
④定款、規約、その他これに準ずる書類
⑤構成員の名簿

詳しくはまちづくり戦略課までお問い合わせください。

コミュニティ助成事業で備品を整備しました



宝くじの社会貢献広報事業では、地域のコミュニティ活動に必要な備品に対して、支援を行っています。令和8年度ではこの宝くじ助成金で地域コミュニティ発展のため、一般コミュニティ助成事業として、広野地区チャレンジ神山推進協議会のイベント事業に伴う備品整備を行いました。

8月15日（土）に開催された第38回広野地区夏祭りでは、一部購入した簡単テント、音響備品を用いて、各団体による出店やカラオケなど、多くの来場者を迎え盛大に行われました。

当日の様子はかみやまchでご覧いただけます。
こちらからどうぞ▶▶▶





健康福祉課
TEL 088-676-1114

認可外保育施設等の無償化について

徳島県の阿波っ子はぐくみ保育料助成事業の拡大を受け、令和8年4月から認可外保育施設などを利用する0歳から2歳の子どもの保育料の一部または全部を支給します。（※非課税世帯の方は国の制度による補助（施設等利用給付）の対象となります。）

支給対象児童

0歳児から2歳児までの保育の必要がある子ども

支給対象者

保護者の市町村住民税所得割合計額が169,000円未満の世帯の方（4月～8月利用分は前年度分）

対象者の方で無償化を受けたい場合は利用開始の前に、保育の必要性の認定を受けること、必要書類を提出することが必要ですが、令和8年度に限り利用月に保育の必要があったことが確認されればさかのぼって認定可能となっております。詳細はホームページをご覧ください。

ホームページはこちらからご覧ください▶▶▶

健康福祉課
TEL 088-676-1114

第76回社会を明るくする運動 出発式

7月2日（木）、名西地区保護司会による「社会を明るくする運動」出発式が神山町役場で行われ、保護司会、神山町更生保護女性会、関係機関が参加しました。式では、名西地区保護司会・敷田分区長から内閣総理大臣メッセージが町長に伝達され、参加者はその後、町内を巡回しながら広報活動を行いました。

「社会を明るくする運動」は、犯罪や非行の防止と立ち直りについての理解を深め、新たな被害者も加害者も生まない明るい地域社会を築くための全国的な運動です。

詳しくはこちらをご覧ください▶▶▶

保護司とは

法務大臣から委嘱を受けた非常勤の国家公務員で、地域のボランティアとして活動しています。名西地区保護司会の神山分区では、現在6名の保護司が活動しています。

保護司は、犯罪や非行をした人の立ち直りと社会復帰を支援するとともに、犯罪や非行のない明るく安全な地域づくりに取り組んでいます。名西地区保護司会では、「社会を明るくする運動」の広報活動をはじめ、中学生弁論大会への出場支援や作文・標語の募集などを通して、青少年の健全育成と犯罪予防活動を推進しています。

長年保護司として活動されている木元さんにお話を伺いました。

『広報かみやまDX』で公開していますのでこちらからご覧ください。▶▶▶





健康福祉課
TEL 088-676-1114

名西郡 誰でも交流会 上映会『どうすればよかったか?』

日時
令和8年11月14日（土）
午前9：45～11:30（9:15開場）
場所
石井中央公民館 いしい藤ホール
（石井町石井字石井480-1）
参加費　無料
障がいのある方、支援者の方等どなたでも参加できます。
事前申込み不要。お気軽にお越しください。
お問い合わせ先
名西郡自立支援協議会 精神障がい者支援部会
TEL：090-8970-2414
（担当：久米川）
※平日 月～金曜日
午前9時～午後5時まで

あなたの声をお聴きします ～行政相談月間～

9月1日(火)から10月31日(土)までは「行政相談月間」です。

行政相談月間は、行政相談制度を広く国民のみなさんにお知らせしてお気軽に利用していただくために、総務省が、全国一斉に実施しているものです。この行政相談月間の一環として、神山町では、次のとおり行政相談委員による行政相談所を開設します。

役所の仕事について、「苦情がある」、「困っている」、「こうしてほしい」、「役所の説明や対応に納得がいかない」、「どこに相談してよいか分からない」、「制度や仕組みが分からない」など、お困りの場合はお気軽にご相談ください。相談は無料で、秘密は固く守られます。

〈行政相談所〉



●日時／令和8年10月13日(金)
13:00～16:00
●場所／神山町役場
●行政相談委員／久保 素弘さん

農業委員会
TEL 088-676-1119

農業者年金の加入について

加入要件は3つ
■60歳未満
■国民年金第1号被保険者（国民年金保険料納付免除者除く）
■年間60日以上農業に従事
掛金
掛金月額2万円から6万7千円まで自由に決められます。
（通常加入の場合）
※農業者年金の内容やご相談については、神山町農業委員会、ＪＡ徳島県または農業者年金基金におたずねください。
独立行政法人農業者年金基金
TEL 03-5919-0371
（専門相談員）
ホームページアドレス
https://www.nounen.go.jp

農業委員・農地利用最適化推進委員が決定しました

農業委員は、農業者、農業者が組織する団体等から推薦された者や公募による候補者の中から、町議会の同意を得て、町長が任命します。

13名の農業委員が新たに町長より任命され、7月21日に任命後初めての農業委員会総会が開かれ、次のとおり会長、会長職務代理者が決まりました。（敬称略）
会長　河口　正紀
会長職務代理者　加藤　宏行

新しく任命された農業委員のみなさんは次のとおりです。（議席順、敬称略）
農業委員
<任期>
令和8年7月20日～
令和11年7月19日
松原　和久
（徳島市上八万町西山）
山本　實義（下分字地中）
森本　　守（阿野字二ノ宮）
柳澤　正和（神領字北上角）
中川　雅彦（鬼籠野字中津川）
東　　圭祐（神領字本野間）
原田　健義（阿野字五反地）
藤森　正三（鬼籠野字猪ノ頭）
相原　利章（阿野字松尾）
楠　　達也（阿野字臼嶽）
岡本　悦男（下分字宇井）
加藤　宏行（下分字地野）
河口　正紀（神領字北）

新しく農地利用最適化推進委員に委嘱されたみなさんは次のとおりです。遊休農地の発生防止・解消を推進するため農地パトロールや農地の集約化、新規参入の促進等、農業委員のみなさんと連携して取り組みます。（地区順、敬称略）
農地利用最適化推進委員
<任期>
令和8年7月21日～
令和11年7月19日
佐藤　重樹（阿野字南養瀬）
阿部　純孝（阿野字川平）
溝田　富美（鬼籠野字日浦）
杉本　哲男（神領字大埜地）
竹本美代子（下分字今井）
竹内　利夫（上分字名）

『今、耕されている農地を、耕せるうちに、耕せる人へ、次の農業者へバトンをつなぐ』

教育委員会
TEL 088-676-1522

KAIR2026開催!

神山アーティスト・イン・レジデンス（KAIR）は、今年で27周年を迎えました。これまで活動を支えてくださった地域のみなさま、関係者のみなさまをはじめ、多くの方々のご支援とご協力に、心より感謝申し上げます。

今年度は、ブレイン・デ・セント・クロイさん（アメリカ／アイルランド）、ジョリーン・モックさん（香港）を迎え、神山での日々の暮らしや地域との交流を通して制作に取り組んでいます。また、KAIR2019招聘作家の狩野哲郎さんをリターン・アーティストとして再びお迎えし、前回の滞在からの変化や、再訪によって生まれる新たな視点とともに制作を進めています。

お気軽にご参加いただけるイベントも予定しております。今年はどのような作品や出会いが生まれるのか、どうぞお楽しみに。

オープンアトリエ
9月27日（日） 13：00～
作品展覧会
10月26日（月）～11月3日（火・祝）、11月7日（土）&8日（日）
アートツアー
10月25日（日）13：00～

※諸事情により各日程に変更が生じる場合がございます。

KAIRプログラムや各イベントの詳細については、イン神山ホームページをご覧ください。

こちらのQRコードからアクセスできます▶▶▶



ブレイン・デ・セント・クロイ
TRANSCONTINENTAL DIVIDE
2023



ジョリーン・モック
PLANT-BASED DEVELOPER EXPERIMENTS
2024



狩野哲郎
無限で有限のスタック / Flexible stacking
2026

ふれあい人権講座

8月7日(金)、第1回神山町ふれあい人権講座が、神山町農村環境改善センターで開催されました。講師は、道化師やスマイルナビゲーターなどとして活動されている望月美由紀さん。演題は、「笑顔を伝染～自分も周りもHAPPYにする方法～」でした。

講演では、「笑い」が持つ大きな力や、安心して弱音を言うことができる人がいることの大切さなど、ご自身やご家族の経験を交えながらお話しいただきました。また、パントマイムの披露もあり参加者の笑顔が見られる場面もありました。

第2回のふれあい人権講座は、10月20日(火)に香川県丸亀市で現地研修を行います。第3回は、12月6日(日)に映画「いのちの停車場」の上映を予定しています。





教育委員会
TEL 088-676-1522

高齢者叙勲 瑞宝双光章受章



西 司郎さん(88歳)は、昭和37年5月に阿南市福井南小学校で教諭となり、平成11年3月に広野小学校校長を最後に退職されるまで、36年11ヶ月にわたり、県内の小・中学校教育の発展に尽力されました。

昭和40年4月に下分中学校へ赴任後、町内3中学校(下分中学校・阿川中学校・神山中学校)の統合に向けた調整に尽力され、昭和46年4月の統合後は神山中学校において学校運営を支えられました。

神領小学校教頭時代には、国際理解教育の推進に取り組み、平成3年には「青い目のアリスちゃん里帰り事業」を実施。アメリカ・ペンシルバニア州への里帰りを通して、日米友好と平和教育の推進にも努められました。

平成6年に阿川小学校、平成8年に広野小学校の校長に就任後は、一人ひとりの児童の個性を大切にした教育に取り組むとともに、教職員への助言や指導にも力を注ぎ、後進の育成にも貢献されました。

こうした長年にわたる教育への功績が認められ、このたび教育功労により瑞宝双光章を受章されました。

総務危機管理課
TEL 088-676-1111

令和8年熊本地震への支援



令和8年7月28日に発生しました令和8年熊本地震への入浴支援として水循環型シャワー1台を県内自治体と共にお送りしました。現地は酷暑が続き、一時約1万人の方が避難されましたが、水道施設が被災し断水が続いています。そこで、水をろ過することで一定量の水で繰り返し使える水循環型シャワーを、避難者や災害復旧に従事するみなさまに活用いただくためお送りしました。

神山町では被災地域の1日も早い復旧を願い役場、広野支所、町内各公民館、神山町社会福祉協議会で10月30日まで義援金を募っており、日本赤十字社を通して被災地へお送りいたします。

町民のみなさまにはご理解、ご協力よろしくお願い申し上げます。





住民課
TEL 088-676-1113

動物の健康が私たちの健康につながります

知ってほしい!ワンヘルス!
ー徳島県はワンヘルスを推進していますー



ワンヘルスとは?

動物から人へ感染する「動物由来感染症」は、病原体を持つ野生動物などの生息域が、森林破壊や気候変動などにより人の生活圏と重なってきたため、人に感染する機会が増えています。「人の健康」を守るためには、「動物の健康」も「環境の健全性」も大切であり、この3つを相互的に配慮していく考え方が「ワンヘルス」です。

何をすればいいの?

「ペットを適正に飼う」「感染症を防ぐために手洗いやうがいをする」「草むらに入るときは、長ズボン着用や虫除けをする」「気候変動対策として省エネなどに努める」なども、ワンヘルスのための取り組みです。一人ひとりのご協力をお願いいたします。

お問い合わせ
徳島県生活環境部
安全衛生課
TEL 088-621-2229

住民課
TEL 088-676-1113

犬・猫の避妊・去勢手術の助成受付がはじまります



■助成対象（すべて該当の場合）
・飼育者は神山町に住所を有し、町税などの滞納がないこと
・犬については、神山町で登録し、本年度の狂犬病予防注射を実施していること

■助成額
1頭につき、5,000円

■申込方法
郵便往復はがきにより、徳島県獣医師会（〒770-8007 徳島市新浜本町二丁目3番6号）までお申込みください。

■記載事項
飼育者の住所、氏名、電話番号、犬・猫の別、名前、年齢、性別、毛色。犬については、犬の登録番号もしくはマイクロチップ番号、および狂犬病予防注射済票番号をそれぞれ記入してください。また、返信はがきの宛名欄に住所、氏名を記入してください。

■申込期間
令和8年10月1日（木）
～10月31日（土）まで（必着）

■その他
・必ず手術を受けさせる前にお申込みください。手術後の申込みはお受けできません。
・助成が受けられる頭数に限りがあるため、申込み多数の場合は抽選となります。ご了承ください。

石井町・神山町・板野町広域斎場名称募集

石井町及び神山町並びに板野町では、令和10年度の運営開始に向けて、石井町内に広域斎場の整備を進めております。

8月6日(木)、石井町・神山町・板野町広域斎場の建設予定地にて地鎮祭を執り行いました。この広域斎場が故人の尊厳を大切にし、ご遺族の方々が心安らかにお見送りできる施設として相応しい名称を募集します。



8月6日に執り行われた地鎮祭の様子



所在：石井町（吉野川堤防沿い「石井河川防災ステーション三郎広場」より西方約250m）

1　募集期間　令和8年9月15日(火)～令和8年10月14日(水)

2　応募資格　応募時点において、石井町・神山町・板野町のいずれかに住民登録し在住の方。一人1点まで。

3　必要事項　①名称(ふりがな含む)②名称の意味、考えた理由③住所④氏名(ふりがな含む)⑤電話番号
※必要事項の記載が無い場合は無効になります。

4　応募方法　任意の応募用紙に必要事項を記入し、令和8年10月14日(水)午後5時までに「郵送」「電子メール」「持参」のいずれかで応募用紙を提出する(郵送の場合は当日消印有効)。

5　応募先
「郵送」の場合
〒779-3295 名西郡石井町高川原字高川原121-1
石井町役場 総務課 宛
(封筒に「広域斎場名称応募」と記載)
「電子メール」の場合
石井町役場 総務課
E-mail:soumu@ishii.i-tokushima.jp
(メールタイトルに「広域斎場名称応募」と記載)
「持参」の場合
応募用紙に「広域斎場名称応募」と記載のうえ、石井町役場総務課、神山町役場住民課、板野町役場総務課のいずれかに提出

6　選定方法　応募作品の中から石井町・神山町・板野町広域斎場整備推進協議会が優秀賞1点を選定し、感謝状と記念品を贈呈します。※抽選による参加賞もあります。

7　結果公表　11月頃、石井町ホームページ等で公表します。

応募詳細は神山町ホームページをご覧ください。
こちらからご覧いただけます▶▶▶

女性消防隊だより　神山町消防団女性消防隊です!!

いつも、女性消防隊の活動にご理解･ご指導をいただきありがとうございます。
今回は、令和８年度第１回研修内容の中で隊員から出た「これってどうなの？」を消防署の方にお伺いしてみました。いくつか紹介いたします！

第1回研修「応急手当とAEDの使い方」を繰り返し学ぼう



繰り返し学ぶことで、慌てず、的確に、できるように体に覚えこむ

Q. 周りに誰もいない（協力してくれる人がいない）場合はどうする？
A. まずは、携帯電話で１１９にかけてスピーカーにする。指示を受けながら、必要であれば心臓マッサージをひたすら頑張る！
Q. AEDを使用するとき体が濡れていたら？
A. 濡れたままだと通電するため、タオル等で拭いてから使用する！
Q. AEDを使用するときアクセサリーは大丈夫？
A. アクセサリーなどの金属類があると効果が薄れたり、やけどの恐れがあるため、はずすか、パットを遠ざけて使用しよう！

防災プチ情報

消火器の有効期限を確認して！！
有効期限を過ぎると、いざという時に作動しなくなったり、破裂事故を起こす恐れがあります





神山消防署だより

9月9日は「救急の日」

救急業務や救急医療に対して理解と認識を深めてもらう日
～救急車を呼ぶ時はどうすればいいの～

消防署への緊急連絡は119番です。

※ただし、携帯電話で119番通報をした場合、石井消防署につながり発生場所を確認後、神山消防署に転送されます。

救急車はサイレンを鳴らさずに現場へ向かう事はできません

救急車は、1分1秒でも早く現場に到着して活動をはじめなければなりません。そのために、急いで現場に向かっていることを周りの人や一般車両に知らせるためサイレンと赤色灯を使用して現場へ向かっています。救急車のサイレン使用、緊急走行にご理解とご協力をお願いします。

水分･塩分をこまめに補給しましょう!!

9月に入っても暑さが続きます。喉が渇く前に水分を補給し、対策をしましょう。



判断に迷った時は

救急車を呼んだ方がいいのか、自分で病院には行けるがどこの病院を受診すればいいのか迷う時があります。
そんな時には、救急の相談窓口や当番病院があります。

徳島こども電話相談　TEL＃8000
（＃8000が利用できない時　088−621−2365）
徳島救急医療電話相談　TEL＃7119
（＃7119が利用できない時　088−622−6530）
神山消防署　TEL 088−676−1199

住民課
TEL 088-676-1113

あなたの素敵な出逢いと幸せな結婚を応援します！

マリッサとくしま

徳島県から委託を受けた公的センター「マリッサとくしま」では、マッチング（お見合い）、イベント、セミナー、相談会など、素敵なお相手探しのサポートをしています。

【お問い合わせ】
マリッサとくしま
TEL：088−656−1002
e-mail:
msc@marissa-tokushima.com
ホームページはこちらからご覧ください▶▶▶

一般市民を対象とした徳島刑務所参観

1 日時　令和8年12月2日（水）13：40～15：30
2 場所　徳島刑務所
3 内容　施設内の見学、被収容者用食事の試食、刑務所作業製品の即売会等
4 応募方法等

① 応募資格 徳島県内在住の18歳以上の方
② 応募方法
以下の事項を記載したハガキを11月18日（水）必着で、⑤の応募先に郵送してください。
ア 氏名（複数人のときは全員）
イ 住所（複数人のときは代表者のみ）
ウ 電話番号（複数人のときは代表者のみ）
エ 駐車場希望の要否
③ 応募者への連絡
11月19日（木）以降、参観者に選ばれた方にのみ案内状を発送します（翌週中には配達予定です）。個別の問合せには応じられません。
④ 費用その他
試食代の実費（100円）を当日現金で徴収します。なお、報道機関による取材の可能性がありますので、御了承ください。
⑤ 応募先
〒779−3133 徳島市入田町大久200−1 徳島刑務所庶務課

駐在所だより　秋の全国交通安全運動の実施について！

令和8年 秋の全国交通安全運動は、
9/21(月)→30(水)
の期間で実施します



秋の全国交通安全運動ではどのようなことをしているのですか？

秋の全国交通安全運動では、全国重点として、
●歩行者の安全確保と反射材用品の着用促進
●夕暮れ時の早めのライト点灯と飲酒運転や「ながらスマホ」の根絶
●自転車・特定小型原動機付自転車の交通ルールの理解・遵守の徹底
地域重点として、
●高齢者および夜間の交通事故の徹底抑止
を運動重点として、街頭活動の強化や交通指導・取り締まりを実施します。

車を運転する上でどのようなことに気をつければ良いですか？

交通ルールを遵守し、ゆとりを持った思いやりのある運転をするよう心がけてください。

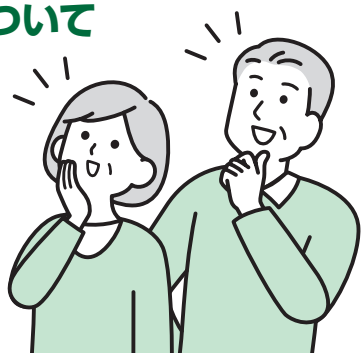
徳島県警からの情報発信

Facebook　行事や取締情報などを公開しています。
YouTube　防犯対策方法や交通安全情報などをお届けしています。
X(旧:Twitter)　交通事故発生状況や啓発活動を掲載しています。

国民年金だより

年金生活者支援給付金制度について

年金生活者支援給付金は、公的年金などの収入やその他の所得額が一定基準額以下の年金受給者の生活を支援するために、年金に上乗せして支給されるものです。



対象となる方

老齢基礎年金を受給している方

次の要件をすべて満たしている必要があります。

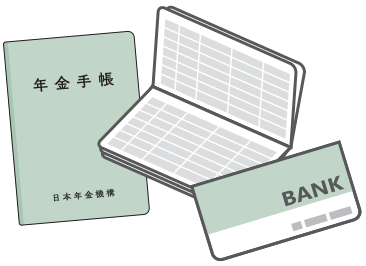
- ☑65歳以上である
- ☑世帯員全員の市町村民税が非課税である
- ☑前年の年金収入額とその他所得額の合計が約93万円以下である

支給要件に該当しない場合は支給されません。

障害基礎年金・遺族基礎年金を受給している方

次の要件を満たしている必要があります。

- ☑前年の所得額が約492万円以下である



請求手続き

①新たに年金生活者支援給付金をお受け取りいただける方

お受け取りの対象となる方には、日本年金機構から9月初旬頃から、請求可能な旨のお知らせを送付します。同封のはがき（年金生活者支援給付金請求書）に記入し提出してください。

令和9年1月4日までに請求手続きが完了しますと、令和8年10月分からさかのぼって受け取ることができます。

請求手続きはお早めに！

②これから年金を受給しはじめる方

年金の請求手続きと併せて、役場住民課または広野支所もしくは年金事務所で請求手続きをすることができます。

日本年金機構や厚生労働省を装った不審な電話や案内にご注意ください

電話で家族構成や金融機関の口座番号・暗証番号をお聞きしたり、手数料などの金銭を求めることはありません。

年金生活者支援給付金に関するお問い合わせ先

「給付金専用ダイヤル」ナビダイヤル

TEL 0570−05−4092

※基礎年金番号がわかるものをご用意のうえ、お問い合わせください。

ホームページもご覧ください。

年金生活者支援給付金　検索

お問い合わせ　**徳島北年金事務所　TEL 088-655-0200**
住民課年金担当　TEL 088-676-1113

令和8年度 長寿番付

令和8年9月1日現在（敬称略）

西方				番付	東方			
佐々木　光子	女	103	下分	横綱	岡山　クニヱ	女	104	下分
尾道　つサヱ	女	102	広野		森　明	男	103	下分
竹添　幸子	女	101	広野		森本　ツネ子	女	102	上分
籠畑　やす美	女	101	神領		辻　シゲコ	女	101	神領
木元　富江	女	100	下分		伊勢　ユタカ	女	101	下分
森岡　康之	男	100	下分		山口　コギク	女	100	広野
					矢武　國枝	女	100	広野
森本　敏惠	女	99	下分	大関	河野　艶子	女	99	鬼籠野
森本　富士子	女	99	阿川		大栗　淑葉	女	99	神領
河野　キク子	女	99	鬼籠野		永正　利子	女	99	広野
					桂　政子	女	99	左右内
河野　久子	女	98	鬼籠野	関脇	荒井　トメ	女	98	阿川
髙橋　ツヤコ	女	98	広野		赤根　イワヱ	女	98	神領
西野　タネ子	女	98	下分		三辻　都枝子	女	98	左右内
佐々木　昭一	男	98	鬼籠野		西　千代美	女	98	神領
後藤田　文子	女	98	阿川		多田　クニ子	女	98	阿川
中尾　文子	女	98	左右内		上野　露子	女	98	神領
表　昭三	男	97	神領	小結	貞政　庸雄	男	97	阿川
栗原　静子	女	97	阿川		坂西　満子	女	97	神領
森城　鐵夫	男	97	広野		古庫　住子	女	97	神領
矢武　サツキ	女	97	広野		鎌田　茂子	女	97	神領
下川　利子	女	97	神領		水上　百合子	女	97	神領
上野　カズ子	女	97	神領		八木　アサ子	女	97	神領
堺　榮子	女	97	広野		門田　喜代子	女	97	上分
六車　美代子	女	97	下分		髙橋　タカ子	女	97	神領
河野　貞子	女	97	広野		南上　ミヨ子	女	97	下分
大黒　道惠	女	96	下分	前頭	尾西　義二	男	96	下分
高橋　久男	男	96	鬼籠野		北村　千代子	女	96	神領
寺奥　和司	男	96	神領		阿部　國義	男	96	阿川
蔭山　マサ子	女	96	上分		東浦　利幸	男	96	下分
西内　品子	女	96	阿川		高橋　晃	男	96	鬼籠野
小島　和子	女	96	広野		小川　孝子	女	96	広野
松本　勲	男	96	阿川		武市　清子	女	96	下分
藤井　利治	男	96	阿川		中　初夏	女	96	神領
廣岡　仁優	男	96	神領		阿部　忠良	男	96	鬼籠野

米寿おめでとうございます

本年度の米寿該当者は昭和12年10月1日～昭和13年9月30日までに生まれた方です。
（順不同・敬称略）

上分地区	下分地区	左右内地区	神領地区			鬼籠野地区	阿川地区		広野地区
津江　カツ子	古庫　和子	中内　都子	髙橋　八千代	坂口　晴代	宮城　ヨシコ	大西　カズ子	河内　英樹	相原　敦子	阿部　幸江
池本　ツヤ子	片山　邦夫		片山　功	髙橋　正一	大石　通雄	河野　昭子	髙島　純江		西谷　信子
松原　清行	中野　タケ子		福島　嘉代子	塩本　静枝		岩城　ナル子	川崎　波江		笠井　節子
東手　チズ子	坂本　悦雄		髙橋　啓	桃山　君江		大平　正子	生駒　富子		髙橋　正
福岡　靖祐	森西　イクヱ		原井　泉治	河野　良江			河野　里江		柳澤　佐千子
神田　公子	西山　幸子		沼田　佳子	後藤　麻子			宇坂　公夫		森　マサコ
渡邉　米子	谷上　アヤ子		千田　博子	河野　利明			森下　澄子		原田　タミ子
林　徳夫	西内　喜代子		西川　武	髙橋　正明			平尾　禎男		
妙見　任康	宮本　正男		新宅　博行	津田　弘忠			冨士原　敬祐		
9名	9名	1名	20名			4名	10名		7名



遊ぶ　楽しむ　つながる

神山イベントカレンダー2026

第43回 神山温泉すだちマラソン

11/15 ㊐

会場／神山町民グラウンド
受付／8:00～9:00　開会式／9:00～
スタート／
ペアの部・スポーツ少年団の部(1.7km) 9:30～
一般の部(3km) 9:55～
一般の部(10km)10:30～
申し込み／
9月10日㊍～9月30日㊌まで



すくすく子育て in 神山



時間／10:30～11:30
会場／鮎喰川コモン
9/18 ㊎「のど、かわいてない?」-水分のとり方を知ろう-
10/16 ㊎「おやつってなんだろう?」-補食と歯のはなし-
11/20 ㊎「からだの力を信じる」-寒い時期を元気にすごす-



かみやま産業文化祭

地元飲食店による飲食ブースをはじめ、地域に伝わる伝統芸能や音楽などのステージ発表、町内団体・事業所による展示や体験コーナーの実施。
また神山町にまつわる歴史的資料や映像作品の展示・上映を予定しています。



11/14 ㊏
時間／10:00～17:00
※雨天決行
会場／神山町
農村環境改善センター

タブレット・スマホ講習会
水曜日に会いましょう!

第2回　秋の風景を写真・動画で撮影しよう

予約不要、無料で相談いただけます!

9/16 ㊌ 鬼籠野公民館 ・**9/30** ㊌ 阿川公民館
10/7 ㊌ 広野小旧校舎(ほんのひろば) ・**10/14** ㊌ 下分公民館
10/21 ㊌ 上分公民館 ・**10/29** ㊌ 神中体育館(大会議室)
開催時間／午前 10:00～12:00　午後 13:30～15:30



in Kamiyama

グリーンバレーと神山つなぐ公社が運用している神山町のいまの状況を、ありのままに分かちあうウェブサイトです。

in Kamiyamaはこちらからどうぞ ▶▶▶

編集後記

今回の広報では、全国の舞台に挑む神山ルーキーズ少年野球部や中南さんを取材させていただきました。大舞台で躍動するみなさんの姿は本当に輝いていて、「自分も頑張らなければ」と大きな刺激を受けました。目標に向かってひたむきに突き進む姿から、私自身もたくさんの元気をもらった温かい取材となりました。(田中)

わたしの好きな神山

みなさまからの投稿お待ちしています。
フォーム（QRコード）にご入力のうえ、送信ください。
または、info@kamiyama.i-tokushima.jpまでお送りください。



いまも昔も。変わらない良さがある風景

好き



瀬戸 日出夫 さん
［阿川府中］

自宅の庭から見える、広野の須賀山と、天気が良い日には淡路島まで見渡せる景色が私の好きな風景です。

私が住んでいる集落も昔は20軒ほどありましたが、今は2軒となりました。周囲の環境や暮らしは大きく変わってきているけれど、この景色だけは昔から変わりません。

庭に出てこの山を眺めていると、昔の懐かしい思い出がよみがえってきます。時代が変わってもずっと変わらないこの風景を、これからも大切にしていきたいです。

コメントやいいね！で交流の場に

広報かみやまのWEB版「広報かみやまDX」は映像や写真を活用し、紙面では伝えきれない「まちのいま」を豊かに届ける広報メディアです。記事に対してコメントやいいねができますので、みなさん同士の交流の場となるよう、「神山のいま」を更新していきますので、ぜひご覧ください。

かみやまchは
こちらからどうぞ▶

広報かみやまDXは
こちらからどうぞ▶



UD FONT 見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

kamiyama 広報かみやま
広報かみやま　令和8年(2026年)9月号　No.366
発行／広報かみやま編集委員会　特集編集／いつもどおり
表紙写真／生津 勝隆　編集・デザイン／株式会社エニィ
〒771-3395 徳島県名西郡神山町神領字本野間100
TEL 088-676-1111　FAX 088-676-1100
ホームページ https://www.town.kamiyama.lg.jp